

ぶちか 議会だより

第125号 2023.4.2



小値賀こども園防火パレード

contents

- 令和5年度のお金の使いみちが決まりました・・・・・・・・・・2～
- 新たな事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- 令和5年度も続けます・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- 教育長！北松西高校の魅力化をさらに進める取り組みを・・10～
- 残す任期もあとわずか 議員の思いは今・・・・・・・・・・14～

今号から 誰にとっても見やすく読みやすい文字 (UD フォント) を主に使っています



人口減少問題解決の正念場の年に

定住促進、子育て支援、起業・事業拡大の支援など全力で

令和5年定例3月会議を3月7日から14日までの8日間の日程で開催しました。今回の定例会議のメインは令和5年度の本町の予算審査で、4月の統一地方選挙を前に、町長、議員ともに任期4年間最後の定例会議となります。

初日は西村久之町長がこの任期中に取り組んできた町政運営について振り返りました。

また、人口減少問題の解決に向けた定住促進、子どもの教育や子育て支援、起業や事業拡大に対する支援、後継者対策、産業振興に重点を置いた令和5年度の施政方針を明らかにしました。

小値賀の教育について質す

一般質問は26名の傍聴者が集まる中、今田光弘議員が登壇、中村慶幸教育長に小値賀町の教育（小中高一



貫教育の推進、ふるさと留学生制度および北松西高校魅力化推進事業）について質しました。（10ページ）。

新年度予算を可決

提出された一般会計と7つの特別会計予算については審査の場を予算特別委員会に移し、活発な質疑を行いました。

そのほか各会計の令和4年度の補正予算、条例の改正、本町の個人情報保護に関する条例の制定や改正など、提出された30の議案について慎重に質疑を重ね、すべて全会一致で可決成立しています。



令和5年度のお金の使いみちが決まりました

予算総額 39 億 100 万円 (歳入・歳出ともに)

町民 1 人当たり 174 万円

(前年度当初予算とほぼ同額)

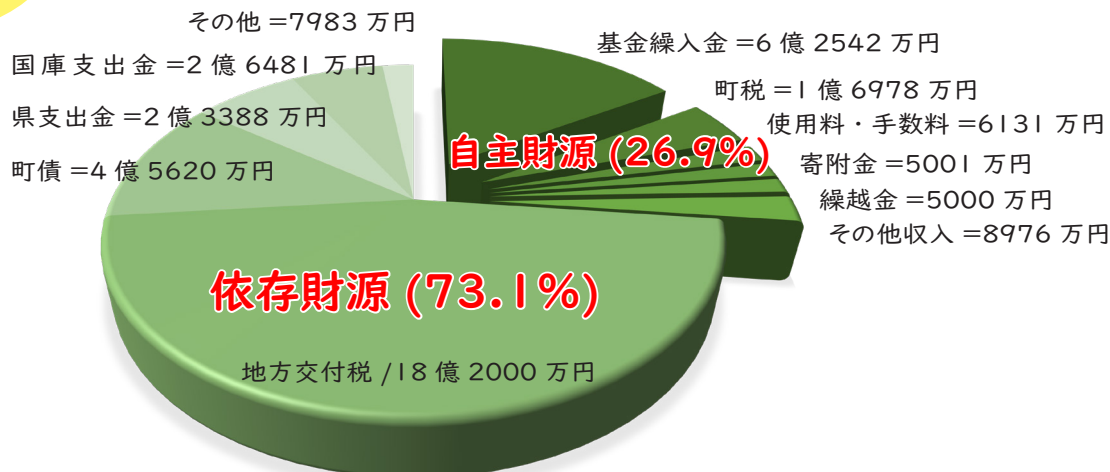
歳出

令和5年度に使われる町の大切なお金の内訳

衛生費	5 億 3985 万円	2 億 7433 万円減	保健衛生、環境衛生、健康、清掃などに要する費用
民生費	6 億 3035 万円	3621 万円増	社会福祉、児童福祉、生活保護などに要する費用
農林水産業費	5 億 5212 万円	3173 万円減	農林水産業の振興や松くい虫防除などに要する費用
総務費	7 億 5312 万円	2 億 1108 円増	役場全体の維持管理、徴税、選挙などに要する費用
教育費	3 億 6189 万円	7030 万円減	小中学校、公民館などの管理や離島留学に要する費用
公債費	4 億 2504 万円	1748 万円増	町債として町が借りたお金を返済する元金と利子
土木費	2 億 5161 万円	3560 万円増	道路や町営住宅の維持管理などに要する費用
商工費	1 億 2889 万円	5977 万円減	商工業の振興や観光に関する費用
消防費	1 億 5058 万円	4065 万円増	消防団や消防署などに要する費用
議会費	5483 万円	421 万円増	議会運営や議員に係る費用
その他	5271 万円	890 万円増	諸支出金、予備費など
合計	39 億 100 万円	8200 万円減 (前年度当初予算額との比較増・減)	

(端数処理により内訳と合計が一致しない)

歳入



依存財源：国や県から定められた額を交付・割り当てられるお金や金融機関から借りてくるお金
自主財源：町が直接集めるお金（この比率が高いほど自主的な財政運営ができる）



予算は皆さんが選んだ町長が提案

決めるのは 皆さんが選んだ議員です

特別委員会で予算を審査

町の予算を決定するのは
議会です。

あすの小値賀町のため、
そして町民のため、町民が
納得し理解が得られる予算
か否か、議員も執行部も真
剣に、時には熱くなりなが
らも冷静に真摯なやり取り
を2日間続けました。



委員長は横山弘藏議長が務める

原案に反対者がいた会計も

特別委員会では、質疑を
終えたのち一般会計と特別
会計7会計それぞれ討論を
経て表決を行いました。

国民健康保険診療所特別
会計は反対者がいたものの
賛成多数、それ以外の会計
は賛成全員で、予算特別委

員会としてはすべての会計
について原案のとおり可決
すべきものと決まりました。



6名の委員のうち賛成は5名だった国保診療所特別会計予算

本会議での採決は全会一致

日を改めて開いた本会議
では横山委員長が審査報告
を行い、続いて宮崎良保議
員が賛成の立場から**討論※**
を行いました。

その後の採決では8会計
とも全会一致で「賛成」と
なり、小値賀町の令和5年
度の予算がすべて決まりま
した。

※討論

自分の意見に反対する者や、賛否の意思を決めていない者を自分の意見に賛同させることを目的として、賛成または反対の意見を表明すること。
賛成または反対についての理由を明確にして論議すべきものとされており、原則として一人一回、反対者・賛成者の順に行う。



賛成討論をする宮崎良保議員

※一般財源

町税、地方譲与税、地方特例交付金および地方交付税で、使いみちが特定されておらず町がどのような経費にも使うことができるお金のこと。
これに対し一定の用途だけに使えるのが特定財源。

一般会計予算審査

～予算特別委員会での質疑の一部～

歳入関連

依存財源の比率が高まる

●自主財源の比率が前年度に比べて3・5ポイント減り、その分依存財源の比率が高まっている。どう考えているか。

●国や県の補助メニューを活用し、なるべく一般財源※を使わないような取り組みを徹底していきたい。

●町民税が7087万円余で、前年度当初予算より808万円余増額と見込んでいるが増額の理由は。
●給与所得者の支払う町民税が734万円余増えることが大きな要因だ。

ごみ分別の動機づけに

●資源物販売収入31万5千円の内訳は。

●回収した段ボールを売却した金額だ。

●段ボール以外の資源ごみは売れないのか。

●回収費用の方が上回っている。

●今は金属ごみは高く取引

されていると耳にするが。

●これからは収入として計上できるような仕組みづくりをしていきたい。

●収入がはつきり数字としてわかれば、町民の皆さんのごみ分別のモチベーションがもっと高まるのではないかと。

●そのとおりだと思う。

歳出関連

●業務改革推進事業として339万円計上しているが業務の目的は。

●いわば業務の棚卸のようなもので、全庁的に調査を行って業務量がどこに偏っているかなどの課題を抽出し、ペーパーレスやデジタルの実装につなげていくとするものだ。



新港ターミナルビル改修へ

●小値賀港新ターミナルの改修工事の内容は。

●シャッターや扉、会議室やトイレの改修のほか底の設置などを計画している。

●また自転車置き場は外に造り、目隠しのごみ置場も確保する。

●高速船桟橋や駐車場からアップロード通路の改修も必要では。

●県の所有のため県に改修のお願いをしている。

●工期は。

●利用者の安全確保を図りながらの工事となるためある程度時間がかかると思うが、できるだけ年度内に完了させたいと考えている。



小値賀の玄関口としての整備を



●大島で最新の無線技術を使った高速通信の実験費用160万円が計上されている。納島でも実験を行っているがその結果は。
●天候により通信速度が変わることはあるが切断は一度もなく、良い結果だ。

●町としても総務省に対し補助メニューを考えてほしいと伝えている。



納島での実証実験 結果は良好

一般会計予算審査

～予算特別委員会での質疑の一部～

中学生の提案を実現 公衆トイレを整備



模擬議会で提案した田川翔明さん（令和3年12月）

問 公衆トイレの整備事業費 610万円の内容は。

答 令和3年度の中学生模擬議会で提案された漁協横と西町公園の前のトイレの改修で、今年度に設計して来年度に工事する予定。

問 提言の実現はとても良いことだ。郵便局周辺にもあったら便利だと思うが。

答 用地の確保がなかなか難しい。

設置個所については消防分団詰所なども視野に、時間はかかるかもしれないが

観光関係機関とも協議しながら進めていきたい。

問 トイレの問題は観光にも影響する。適切な管理も必要だ。

答 これからも適切な管理を続けていく。



漁協横のトイレ



1分団詰所横（西町公園前）のトイレ

問 納島担当の地域おこし協力隊関連の業務委託料が970万円と昨年度より150万円余増額している理由は。

答 納島の新たな土産品の開発や、納島と本島との交流機会を増やす取り組みをするため。

問 協力隊任期の3年が秋で切れるがその後の計画は。

答 現在は2名体制だが秋以降は1名を配置したいと考えている。

問 この業務内容であれば総務文教厚生常任委員会でも指摘しているとおり地域おこし協力隊ではなく、「地域活性化企業人」の制度を活用すべきではないか。

また貴重な落花生の生産を守る取り組みも必要ではないか。

答 将来を見据えた検討をしていきたい。

「敬老祝い金」見直しては

問 70歳以上（949人）には報償費千円、75歳以上（662人）には6千円分の敬老祝金、百歳到達者には

5万円、合計で498万円が敬老の日関係事業として計上されている。

町民の半数以上が対象となり、このやり方は時代にならぬのではないのか。

以前のようには節目の年齢（喜寿、米寿等）での支給に切り替え、その分子ども関連の事業にまわしては。

答 各地区の意見も伺いながら見直せるところは見直していきたい。

問 アワビ種苗センターの費用対効果は。

答 経費は年間1300万円程度で、アワビの水揚げは昨年度で18.5キログラム。

問 本町単独ではなく、近隣他地域の同種事業者と協力・すみ分けして進めていくと説明を受けていたが。

答 近隣地域で撤退した事業者もあるため、協力・すみ分けの話は進んでいない。

問 効果が上がらないのなら撤退も視野に入れている。

答 アワビをつくる技術はあるので撤退はせず、網仕切りの中に放流するなど工夫して続けていきたい。

特別会計予算

令和 5 年度 7 会計予算総額 18 億 3270 万円

国民健康保険事業

4 億 7480 万円

主な歳入

県支出金	3 億 5848 万円
国民健康保険税	8316 万円
一般会計から繰入	3289 万円

主な歳出

国民健康保険給付費	2 億 8704 万円
県への納付金	9764 万円
特定健診・特定保健指導費	884 万円

渡船事業

9000 万円

主な歳入

一般会計から繰入	4271 万円
国庫支出金	1583 万円
渡船事業収入	892 万円

主な歳出

はまゆう運航費	4738 万円
さいかい運航費	1582 万円
総務費	1525 万円

介護保険事業

3 億 9930 万円

主な歳入

国庫支出金	1 億 1105 万円
一般会計から繰入	6782 万円
介護保険料	5681 万円

主な歳出

保険給付費	3 億 6071 万円
地域支援事業費	2900 万円
総務費	956 万円

後期高齢者医療事業

5430 万円

主な歳入

後期高齢者医療保険料	2457 万円
一般会計から繰入	2440 万円

主な歳出

広域連合負担金	4431 万円
総務費	930 万円

簡易水道事業

1 億 30 万円

主な歳入

事業収入	5319 万円
一般会計から繰入	2360 万円
町債	2250 万円

主な歳出

総務管理費	7130 万円
公債費	2800 万円

下水道事業

2 億 710 万円

主な歳入

一般会計から繰入	1 億 3080 万円
下水道使用料	2940 万円
国庫補助金	2700 万円

主な歳出

公債費償還金	8541 万円
公共下水道管理費	6257 万円
農漁業集落排水管理費	3589 万円

国民健康保険診療所

5 億 690 万円

主な歳入

一般会計から繰入	2 億 1775 万円
診療収入	2 億 365 万円
町債	7160 万円

主な歳出

医薬品衛生材料費	1 億 1774 万円
医師住宅建設工事費	1 億 1200 万円
医業用機械器具費	2340 万円

一部の議員は、旧診療所の医師住宅をリフォームして使えばこの予算は不要だとして、予算特別委員会の表決では「反対」としました。

西目の処分場に山積みされている廃材を島外に搬出して場内を整備します



6000万円

空家解体の受入再開と景観の保全を図る

ながさき西海農協の水の下倉庫の整備費用を補助します



1800万円

費用の1/4を補助

町営船はまゆのエンジンのオーバーホールを実施します



1155万円

就航は2016年7月

今年度の新たな事業

事業の効果が効率的に発揮されるか
議会は常に注視しています

図書館とこども園の西側ののり面の繁茂した草木を取り除きます



400万円

約2000平方メートルを予定

ストックヤードの圧縮梱包機（段ボールやペットボトル用）を購入します



690万円

作業効率と安全性が高まる（現在の圧縮梱包機）

最終処分場の老朽化が進んでいる油圧ショベルを新たに購入します



2200万円

2台体制で作業が効率的に



その他の主な新規事業	
医師用の住宅を2棟新築	1億1200万円
旧野首教会の保存修理工事（1年目）	8250万円
第7分団の消防ポンプ自動車を購入	3500万円
新規就業者の牛舎整備費用1/2を補助	3134万円
町道の防護柵を取り替え（延長約500m）	2100万円
最新の空き家情報を把握するための調査業務	1200万円
二次離島の周遊観光を促進する事業	350万円
野崎島の集落跡の石垣の台帳を作成	324万円
納島の営農運搬船のエンジンを更新	212万円

離島留学生の受け入れ（入寮型 5 名・しま親型 1 名）



ふるさと留学制度は 4 年目に

松くい虫被害を防ぐために姫の松原の松（約 80 本）の樹幹に薬剤を注入します



薬効は 7 年と言われている

町道唐見崎線ののり面の工事の続きとフェンス（418 メートル）を取り付けます



歩行者と車の安全の確保を図る

今年度も続けます

小値賀町民全体の福祉につながっているか議会は常に注視しています

海岸の漂着ごみの回収と「海ごみなくそう＆ごみ収集カレンダー」を作成します



生態系を含めた海洋環境の悪化を招くことに

農道・水路・ため池などの維持管理のための共同作業を支援します



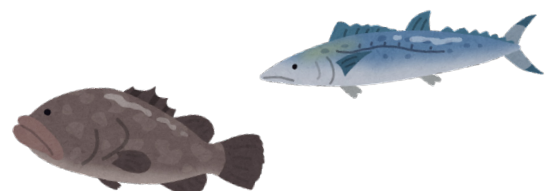
役目の参加者の減少も気がかり

農水産物の海上輸送に係る費用の 8 割を補助しています



うち水産物関連には 3034 万円

その他の主な継続事業	
障がい者自立支援のためのに給付	1 億 2797 万円
新上五島町へ可燃ごみを搬出する	5212 万円
社会福祉協議会の運営費を補助	2310 万円
国境離島居住者の航路運賃を下げる	1430 万円
担い手公社の運営費を補助	1400 万円
小値賀交通の運行費を補助	1300 万円
放課後児童クラブの運営を委託	1102 万円
社協の公共交通空白地有償運送事業を補助	796 万円



一般質問

「本町の教育について」 教育長の考えは？

北松西高校の魅力化をさらに高める取り組みを

官民協働で「ならでは」「だからこそ」の教育を進めます

今田光弘議員

全国的に言われ続けている人口減少問題だが、このままでは本町も遠くない将来に他の自治体と合併せざるを得なくなる可能性もある。

そうならないためには移住者、特に若い人たちが今まで以上に本町を選びたい、住み続けたいと思うような施策、とりわけ教育と子育て環境をもっと高い次元に整える必要があると考える。

小中高一貫教育の推進を

開始まってから15年が経つ小中高一貫教育制度。この先どのように推進し発展させていくのか。

◎中村慶幸教育長

本町の小中高一貫教育は、「地域探究」を柱に「キャリア教育・ふるさと教育」をさらにみがいしていくことで発展すると考えます。

そのためには、学校と地域の連携が欠かせませんので「地域探究」というキーワードを学校だけでなく地



今田光弘議員

域全体のこととして、本町の人的・物的資源をさらに活用した「地域とともにある学校づくり」を推進していきたいと考えています。

行政が学校と地域をつなぐことによって「地域探究」を柱にした小中高一貫教育がさらに発展すると信じています。

ふるさと留学制度の充実を

◎ふるさとと留学制度は一部の児童生徒の親の間で反対意見も根強くあるようだが、北松西高校の存続につながる大事な制度だ。この先どのように制度の充実を図っていくのか。

◎一番の課題は、中・長期的な運営体制の安定化だと思っています。

そのためには今以上にふるさと留学制度にご理解・ご協力いただける方を確保する必要があります。



留学を終えて島を離れる「しま親」型の留学生

現在、おぢか新聞でふるさと留学に関する情報発信をシリーズ化して行っていますが、ひとりでも多くの方に制度の中身と意義をご理解いただき、協力していただける方を増やしていきたいと思っています。

もっと高校の魅力化を強化

●北松西高校魅力化推進事業は、生徒数の減少を食い止め、北松西高校がこれからもあり続けるための事業だ。

魅力的な高校にすることで町外からの生徒を増やし、若い移住者を増やすための取り組みの一つだが、そのために何ができるのか、何をしたいか。

●「できること」についても「したいこと」についても「地域探究にみがかきかけることだ」と考えています。

子どもは家庭と学校だけでなく、地域の方々とも触れ合うことによって、「自ら考え、自ら行動する力」や「社会性」がより身につくものだと思います。

地域探究活動は、小中高一貫教育で系統化されており、その最終ステージが北松西高なので、「自ら考え、自ら行動する生徒が育つ集大成の場」、「提案・実践によって地域を変えていける場」、それが北松西高の魅力だと思っています。



昨年7月の北松西高校地域探究発表会で発言する中村教育長

傍聴席からひと言 (模擬公聴会)

昨年12月に行われた、全国の高校生から地域活性化策を募る京都の福知山公立大学主催の「田舎力甲子園」で北松西高生2人が優秀賞を受賞したが、ほかにもいろいろなコンテストに生徒たちは挑戦している。これらをきっかけにして、何か目的をもって「探求」を続けていってほしいと思う。

小値賀の教育の特徴である小中高一貫教育は手段であって目的ではない。目的を明確にするためには小値賀でどんな体験ができるか、実際にこんな子が育っていますというような具体的なメッセージを出すことが大事だと思う。結果が見えれば地域が協力できることもあるのでは。

私にも言わせて

●魅力化を進めるために検討や提言を行う「北松西高校魅力化推進協議会」は年に2回程度しか開かれていないようだ。もっと積極的な活動が必要ではないか。

●重要なのは、誰が何をいつまでにどこまで進めるかであり、これを意識して進めていきたいと思っています。

また、会議もオープンにして一般の人が参加できるようにしていきたいと思っています。

高校を町立に移管の検討を

●高校の存続を考えると、県立高校から町立へと移管するのも一つの方法だと思う。そのような検討も始めていいのでは。

●北海道の奥尻町の高校が道立から町立へと移管した例があるのは承知しています。

今後、その内容などについて把握に努めていきたいと思っています。

～質問を終えて～

令和4年の定例3月会議に引き続き教育長の考え方などを質しました。

人口減少が続く中で、遠回りかもしれませんが子どもの教育に力を入れることは次の世代につながる重要なポイントだと確信しています。

特に、高校を残すことができるか否かは小値賀町の存続にも直接影響する大きな問題で、県立から町立への移管も現実的に検討すべき時がきていると思います。

令和4年度一般会計補正予算

13 事業を新年度に繰り越し 今年度 7 回目の補正予算が成立

～補正予算質疑の一部～

歳入関連

新型コロナウイルス感染症などの影響による事業の未執行や経費の削減、実績額の確定などにより 1 億 8 6 6 9 万 円を減額した補正予算が提出され、慎重にやり取りを重ねた結果、全会一致で可決成立、令和 4 年度一般会計予算総額は 40 億 3 4 0 5 万円となりました。
なお 13 事業合わせて 2 億 8 0 5 万円を令和 5 年度に繰り越しています。

● 園総合運動公園の施設使用料を 69 万円減額した理由は。
● 新型コロナウイルスが予想より長引いて利用者が大きく減ったためだ。

歳出関連

● 園乗車の予約を **ミート** を使って行うバスの実証実験を計画（200 万円）していたが全額減額した理由は。
● 小値賀交通のバスの予約システムの準備が整わなかったため。
● 新年度以降、あらためて実施を検討する。

● 園公共施設の老朽化対策調査の委託料を 485 万円減額したのはなぜか。
● 入札の結果、落札額が予想より安かったためだ。

● 園人工透析患者通院費補助金（300 万円）を 50 万円増やした理由は。
● 当初計画では 4 名の患者を見込んでいたが、1 名増えたため増額した。

発注遅れで大きく減額も

● 園松くい虫被害木の処理費用を 1600 万円も減額しているのはなぜか。
● 発注が遅れたため、処理作業の限量が予定の 3 分の 1 以下に減ったことによる。大変申し訳ない。

● 園雇用機会を増やすための補助金を 560 万円も減額しているのはなぜか。
● 創業を計画していた 1 件が取り下げたため。

● 園水産経営安定対策事業費補助金が 627 万円も減額しているのはなぜか。
● 漁船エンジンのボーリング費用に対する補助で、10 名を予定していたが実施したのは 4 名だったため。



補助率は 1/3 以内で 100 万円が限度

● 園佐世保・小値賀観光圏の観光地域ブランド確立事業の負担金として当初予算 237 万円余に対して 93 万円増額したのはなぜか。
● マーケティング事業など当初示されていなかった事業の

負担金が増えたため。
● 園当初計画に入っていないのだったのに実施しているのはおかしくないか。佐世保市の言いなりではないか。
● 答 町としてもおかしいと感じている。佐世保市には必ず事前に協議をするようお願いしている。

● 園総合体育館改修工事の設計委託料 1320 万円を 890 万円も減額しているのはなぜか。
● 答 耐力度調査や屋根裏の調査などの調査結果を受け、費用的な面からも町内各施設の今後の機能分担について検討整理することが先だと判断し、設計部分について減額したため。



避難所としての機能も

令和 4 年度特別会計補正予算

渡船事業	81 万円増額	7311 万円に
国民健康保険事業	1214 万円減額	4 億 7698 万円に
後期高齢者医療事業	513 万円減額	4996 万円に
介護保険事業	2238 万円減額	3 億 7841 万円に
簡易水道事業	139 万円減額	8243 万円に
下水道事業	427 万円減額	1 億 7841 万円に
国民健康保険診療所	9970 万円減額	10 億 1716 万円に

各事業ともコロナの影響等による減額修正や予算が提出され、こちらも慎重に審査を行い、すべて全会一致で可決成立しています。

7つの特別会計総額で
1億4420万円の減額となっています。

町内の現在の工事などのようす

柳福泊地区の防火水槽を鋼製タンクにして地中に埋設する工事は3月に完了（有限会社出口建設）



古民家ステイ鮑集の屋根替と外壁塗装工事は3月に完了（株式会社友建設）



唐見崎地区と近浦地区の浮桟橋の補修工事は12月に完了（株式会社元吉組）



旧小西家住宅保存修理工事実施設計業務委託は3月に完了予定（株式会社都市環境研究所）



唐見崎地区の道路沿いに植樹（白い筒の中が苗木）して防災林を造ろうとしています（株式会社庭建）



残す任期もあとわずか 議員の思いは今

小値賀町議会議員選挙は4月18日に告示され、投開票日は4月23日の予定です。

今の議員の任期は4月29日まで。

各議員が今考えていること、思っていることを自由に書いていただきました。

掲載は議員番号順、原則として原文ママです。



② 松屋治郎議員

福岡魚市場を定年退職し、64才でふる里小値賀へUターンし、66才で町議会議員に立候補し、3期12年間務めさせて頂きました。

在職中は主に人口減少対策や産業振興対策に取り組み、町への提言も行っていました。

中でも想い出に残る事は、小値賀町の諸問題解決の為に、国、県、国会議員等への陳情活動、九州商船への新船建造要請、小中学校の新校舎建設、そして学校給食開始、農水産物の加工場建設、ターミナルビルのバリアフリー化、新診療所建設、小値賀全島での松枯対策、野首教会の世界遺産登録、国境離島新法制定への要望活動、そして3年の長きに渡るコロナウイルス感染症対策などです。

そして暮らしているうちに3期12年経過して年令も78歳

となり、又、目の病の回復の目途もたらず、新聞を読む事も難しくなってきたので今期を以て議員生活を終える決心を致しました。

在任中は町内の皆様の御指導、御協力、御支援に心より感謝申し上げます。

そして小値賀町が永遠に栄ある事を祈念し、お礼の言葉に変えさせて頂きます。

12年間、誠にありがとうございました。



③ 宮崎良保議員

前回平成31年の統一地方選挙により選出されて4年の間、産業の活性化・福祉の充実・教育の推進を旗印に活動をしてきました。

又、前代未聞のコロナウイルス感染症の発生や昨年にはロシアによるウクライナ侵攻による影響での、農漁業の資材の高騰の対応に調査してまいりました。

しかし、コロナ禍にあつて議会活動及び議員活動に制約がありました。自然災害を未然に防ぐ国土強靱化地域計画策定の必要性を問う一般質問をはじめ、アジサイネットの調査の為、長崎県医師会を訪問したことは心に残ります。

又、住民生活の安全に密接に関連する県道や通学路の整備についてできる限りの整備を要請してきました。

尚、今後についても本町の最大の課題である人口が減少しても高齢化率が高くなつてもこの町の活力を失わないよう、持続可能な町作りを目指して参りたいと思います。



④ 黒崎政美議員

思えば長い4年間であつた。身も心も錆びつき、脳も自覚症状はないが誤作動

を起こしているかも知れない。これ以上町政に携わっていくのは町民に対し失礼だと判断し、今期で退くことを決意した。価値観が急速に多様化していく今の時代についていくのは無理だと思う。

今回本町は選挙になるらしい。四年前とは打って変わって、町民が地方自治の主役であり、人ごとにしか自治のことを考えていないことが小値賀町の最大の危機であつた。自治とは自分たちのことを自分達で問題を解決すること、個人（町民）の意見を踏まえて町の意思を決定するのが議会の役割である。執行機関の牽制機能といわれている。

果たして自分はどうであつたか。胸を張って合格点は与えられない。赤点ぎりぎりであつたが、それ以下かもしれない。

とにかく新議会に期待することにしよと思う。肉体的な衰え、時代の進歩についていけなくなった者は退くのみである。



⑤ 末永一郎議員

議員生活の16年間、自分として何をどうやって来たのか。

1年〜2年はなにもわからず、議員として務まるの
かなやみました。

3年目になってやっと少しずつ議員らしい仕事が先輩議員から励まされ、出来る様になりました。

自分とすれば、漁協、漁民、行政との橋渡しをするため議員になったのだからそれなりの仕事をしなければ
と思い、磯焼対策、藻場対策、船のボーリングの3分の1の補助などは取り組んできました。

しかし水産加工施設は実にならず、漁業者に申し訳なく思っております。

しかしこれからも色々な方面で協力して行こうと考えております。

16年間お世話になり、あ

りがとうございました。



⑥ 浦英明議員

「思いやりのある町政」を真情に小値賀町議会議員として歩んできた20年間、思い返しますと、小値賀町が平成の大合併に揺れる中、右も左も分からないまま出馬し、自律の道を推し進んできたような気がします。

以前の会社や漁協と全く違う勉強に取り組み、単式簿記での予算・決算の見方、佐世保市との合併議事録など読み漁り、研鑽を積み重ね、自治権を行使できる町として、一つの自治体であり続けるのがベストでないかとの結論に至りました。

貧しいながらも住みやすい町小値賀町、台風以外に自然災害を被らない小値賀町として誇りを持ち、未来永劫見据えていきたいと思っています。

政策としては、船瀬海岸

を通過して診療所に向かうバス停の設置、買物弱者のための前方楽市店の設置など提言し、実績を残したものの、海藻の増殖には成功出来なかったことが残念で悔いが残る思いです。アマモは一年生藻の播種でなく、多年生藻を田植えするような植付方法が望ましいと考えます。



⑦ 今田光弘議員

町村議会議員のなり手が少ないと全国的に言われていますが、「議員のなり手」町の支え手」です。町を支えるのは町民の皆さん、そしてその代表である議員です。

4年前の選挙の立候補者は8人で、町民の皆さんの

意思が反映されない無投票でした。危機感を強く持った私たちは、本町議会だからこそできる立候補者を増やす取り組みをこの4年間続けてきたつもりです。

そして迎えた町議選立候補予定者説明会の2月28日。13陣営もの皆さんが会場に集まりました。素直に「びっくりした」。そして感謝の気持ちでいっぱいです。

議員定数は8。このままいけば選挙になります。町民の皆さんが立候補者を自分の目で見て話をきいて自分たちの代表者を選ぶことができる4年に一度の選挙がやってきます・・・



⑧ 横山弘蔵議員

あつという間の四年間、コロナが始まってコロナで終わりました。しかし町政は待ったなし。日々執行部も一緒になって小値賀町が少しでも住み

やすい町になるように協議を重ね活動してきた。町民に叱咤激励されながら議員全員頑張ったな一と思ってい

選挙が近づくにつけて、又、無投票になるか、欠員になるかという問題に直面した。全国でも珍しい議会自ら議員のなり手不足の問題を真剣に発信し、その効果が今回の結果である。住民の代表である議会の機能が十分に発揮できることが住民の福祉向上に繋がることになる。

これからも小値賀島が豊かで住みやすい町になるように心から願っている。今後とも町民の皆様と一緒に町づくりに励みたいと思います。



8年ぶりの町議選挙になるか

（表紙の写真）

「こども園防火パレード」

3月2日に毎年恒例の「こども園防火パレード」が行われました。

穏やかな春の陽ざしの中、笑顔にいやされたひと時でした。

まだまだ空気が乾燥する季節です。町民一人ひとりが「火の用心」を心がけましょう。



「ギカイの窓」開いています！



小値賀町議会では町民の皆さんのいろいろな意見をうかがって議会活動へ反映させようと「ギカイの窓」を開設しています。

議会に対する質問や意見、要望、相談や提言など町民の皆さんが議員や議会に直接相談できる場で、まずは電話かメールで議会事務局にご連絡ください。

相談は原則として役場3階の議員控室で行います。

相談する議員は指名も可。指名がなければ、相談内容により当方で決めます。

相談内容の公開は原則としてご希望に応じます。

なお公共の福祉に反すること、個人的な要望、議員や役場職員に対する苦情などには対応できませんのでご了承ください。

電話 0959-56-3111 役場内議会事務局
メール gikaisodan@town.ojika.lg.jp



小値賀町議会
動画配信サイト



小値賀町議会
Facebook

ごめんなさい！！

前号表紙の発行年 2022 年は 2023 年の誤りでした。
誌面の都合でシリーズ突撃取材はお休みします。

編集 小値賀町議会広報常任委員会
発行責任者 小値賀町議会議長
電話 0959-56-3111

編集後記

2月中ごろ、ウグイスの声が目覚める幸せな季節が始まります。ヤブツバキの花にはメジロが集まり、菜の花が一面に広がると田んぼに水が入ってカエルの大合唱。本格的な春の訪れです。

気温が高くなり、陽ざしがきつくなってきたある朝、縁側から見える海の青さが急に濃くなって夏の訪れを教えてください。カキーンと光り輝く夏、いつの間にかセミの大合唱が始まっています。

暑さのピークを過ぎるとセミと入れ替わるように朝も晩も虫たちの大合唱。日の暮れは早くなり、ヒガンバナの赤が畔の黄色に映えるころ、影が長くなってそろそろキンモクセイの季節。香りが近所に降り注ぎ本格的な秋の始まりです。

そして寒さが増してくる中、時おり穏やかな小春日和が訪れて、そんな日は干したお布団の温もりに幸せを感じます。季節を感じながら安心して暮らせる小値賀町がこれからもずっと続くように願わずにはいられません。

（編集委員 今田光弘）